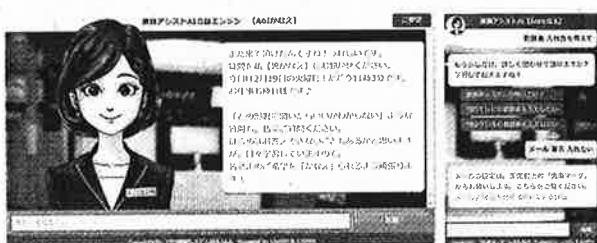


# TBSテレビの働き方改革 日立システムズが支援 対話型自動応答AIサービス導入

日立システムズはこのほど、TBSテレビの働き方改革を支援するため、TBSの社内

システムに対話型自動応答AI（人工知能）サービスの「CAIWA」（イクシ



TBSテレビで導入した「CAIWA」の画面イメージ。これによりTBS社内システムの操作方法や業務に関する問い合わせ対応を、チャットボットによる自動回答で解決できるようになり、大幅な業務効率化につながっている。導入したCAIWAは、サイト利用者が入力した質問に対し、AI技術を活用したチャットボットで自動回答するサービス。入力された文章に対

TBSテレビで導入した「CAIWA」の画面イメージ。これによりTBS社内システムの操作方法や業務に関する問い合わせ対応を、チャットボットによる自動回答で解決できるようになり、大幅な業務効率化につながっている。導入したCAIWAは、サイト利用者が入力した質問に対し、AI技術を活用したチャットボットで自動回答するサービス。入力された文章に対

応する一般的なキーワードマッチングではなく、入力文章全体の意味や利用者の意図を理解することで言葉の搖らぎを吸収し、適切な内容で回答できる特徴がある。これまでチャットボットによる回答の編集はシステムベンダーしかできなかつたが、CAIWAは分かりやすく操作画面の採用により、システムに反映できるようになつた。利用者側は一度社内システムにログインすれば、場所や時間に関係なく問

い合わせが可能だ。チャットボットのキャラクタはTBS社内で作成したオリジナルキャラクタ「AOI

（あおい）かなえ」を採用。AOIかなえは2次元データのままでは

立体表現ができる技術「Live2D」を探

し作成されており、簡単に立体的で表現豊

かな動作ができる。日立システムズは今

後もTBSの現場の課題解決を支援するとともに、この事例を基に

CAIWAの積極提案を行い、20年度までに累計100社への導入を目指す。